

豚と腹八分目

『イソップ物語』を今さら引き合いに出すまでもなく、古来、人間は鳥やケモノなどを例えにして、さまざまな教訓話をつくり出してきた。

その場合、人間が直感的に好意を寄せる動物と、そうでない動物とがあつて、われわれブタ族の場合は、白い目でみられる側の典型になっている。

その証拠に、この国で「ブタ野郎」といえば、不潔で、大食い、その上、お脳のほうもあまりよくない人間を意味する。泥んこのブタ小屋でゴロリと横になり、その結果、泥だらけになっていたのは、我々の遠い先祖であるイノシシ公が、アブや、その他のうるさい天敵から身を守るために、水浴びしたり、砂を浴びたり、泥のなかに寝そべったりしたところの習慣が残っているためで、裏を返せば、これこそ生活の知恵、けっして不潔の証明などにはならないのである。

また、われわれ豚族が、そろいもそろって丸々と太っているところから、「ブタの大食い」などと、トンでもない連想を働かせるご仁が少なくないが、

肉アヲカルト

この国のさる食糧研究の大家は、「ブタの胃を解剖してみると、俗説に反して、彼らはいつも腹八分目の食物しか胃にしていない」と、もう何年も前に証明している。見境のない「大食い野郎」は、我々豚族ではなく、人間さまの方ではないだろうか。我々豚族は、常に「腹八分目」。だから、健康なのだ！

ところでわれわれブタ族は、ご存じのように多産系である。我々が生まれるときは、一度に数匹の兄弟といっしょに生まれてくるのである。

上手なスパイスの使い方

最近話題になっていいるハーブやスパイスなどには、食物の保存性を高める働きがあります。

身近なところでは、ニンニクやコショウなどが一般的によく知られています。

また、肉の臭みが気になる場合にも効果があります。すから、ハーブやナツメグ、セージなどのスパイスを上手に組み合わせ、好みのスパイスを楽しんでみてはいかがでしょうか。

生後、二、三日はいくらか混乱するが、ほどなく我々は、母親の乳房のなかから、「自分の乳房」を自主的に決め、それからは間違っても、他の兄弟姉妹の乳房に口をつけるような、はしたないマネはしないのである。